

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 2コリ9:8 …………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 180番
- *交読文 …………… 50番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 179番
- メッセージ …………… 炭火焼きのパンと魚を用意して待っておられた主(ヨハネ 21:9-14)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 169番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・聖霊に満たされ、弟子の舌が与えられ、大胆にキリストを伝えられるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

少ししかまかない者は、少ししか刈り取らず、豊かにまく者は、豊かに刈り取ることになる。____は惜しむ心からでなく、また、しいられてでもなく、自ら心で決めたとおりにすべきである。神は喜んで施す____を愛して下さいのである。神は____にあらゆる恵みを豊かに与え、____を常にすべてのことに満ち足らせ、すべての良いわざ致富ませる力のあるかたなのである。「彼は貧しい人たちに散らして与えた。その義は永遠に続くであろう」/と書いてあるとおりでである。種まく人に種と食べるためのパンとを備えて下さるかたは、____にも種を備え、それをふやし、そして____の義の実を増して下さるのである。こうして、____はすべてのことに豊かになって、惜しみなく施し、その施しはわたしたちの手によって行われ、神に感謝するに至るのである。(2コリント 9:6-11)

主イエスの弟子達が最初に聖霊を受けた日は、ペンテコステの日ではなく、主が復活された日であった。その日、主は弟子達に現れ、ご自身の息を吹きかけられ「聖霊を受けなさい」と言われたが、それと同時に、「あなた方を遣わします」とも言われた事を、私達キリスト者はよく知るべきだ。

私達は、福音によって死の海の中から引き揚げられ、救われた。主が私達に望んでおられる事は、救われた所で安穩としている事ではなく、今なお「世」という死の海の中でもがき苦しみつづ、死に向かって歩んでいる人々の所へと遣わされ、彼らを死からいのちへと引き揚げる「人間をとる漁師」となる事である。

復活の朝、主は弟子達に聖霊を授け、「遣わします」と言われたというのに、弟子達は世に出て行かず、テベリヤ湖へと向かい、魚を捕りに出かけた。人は幻やビジョンが無いなら、勝手な事をし出すものである。

しかし、主は憐れみ深い御方である。弱く、愚かな、そして何度言われても何度も間違いを犯してしまう私達を見捨てる事なく、叱る事なく、忍耐深く愛によって私達の凝り固まった心を溶かし、整えて下さる。

主は、弟子達に現れたように、私達にもにそっと現れ、彼の言葉に聞き従う人には、人間の力や知恵では到底及ばないような圧倒的な良きわざを現され、それによって私達は「主がおられた」と知るのである。

「彼らが陸に上って見ると、炭火がおこしてあって、その上に魚がのせてあり、またそこにパンがあった。」

主は本来、圧倒的に聖であり、圧倒的に正しく力ある御方であるゆえ、人は、そのままの主と相対してしまふなら死ぬ以外には無い。しかし主はそんな弱い主の弟子達のレベルに合わせ、降りて来て下さる。

主は炭火をおこしてパンと魚を調理しつつ、弟子達が湖から上がって来るのを待っておられた。

弟子達は、主の命じられた方向とは逆の、空しい働きに出ているのに、彼らを一切責めたり論したりする事なく、そのように待っておられた。弟子達は此の炭火焼きのパンと魚に、どれ程ホッとさせられただろう。

『イエスは彼らに言われた、「今とった魚を少し持ちてきなさい」。…イエスは彼らに言われた、「さあ、朝の食事をしなさい」。…イエスはそこに来て、パンをとり彼らに与え、また魚も同じようにされた。』(21:10-13)

主は、彼らが主の指示どおりにして捕れた魚を、持って来させ、それをも用いて、調理し、主ご自身、みづから来てパンをとり、彼らに与え、魚も同じようにされた。これが、私達の主、私達の王である。

このように主は、まず、あせる私達の心を落ち着かせ、温かい愛の食事をもって、満腹させて下さる。

彼らは、153(ヘカトン・ペンテコンタ・トリオン)の大きな(メガス)魚を獲ったが、これによってどれほどの日々、養われただろう。「穀物をこなしている牛に、くつこをかけてはならない」と言われた主は、主の働き人を、ひもじいままにはさせず、その働きにおいて、大いに富ませて下さる御方だ。

私達は主の働きをする際、「遠慮という妙な美德」を見せて、本当は食べたくて仕方がないのに、我慢して食べないような、あるいは、何者かに騙されて、妙な「くつこ」をかけられたりしていないだろうか。そのような「くつこ」は取り除くべきであり、また、聖霊の光に照らされ、除くべきくつこが分かるように、祈るべきである。

弟子達が働かなくてはならない時、そのために必要なものを一切与えず、彼らがはらぺこのまま、ひもじいまままで送り出すような主人は、果たして良い主人だろうか。主はそのような事はしない。「主の御声に聞き従った」弟子達には、大いなる事をされ、全ての必要を満たしあまり余らせるのが主のやり方である。しかし御声に聞かず、御旨ではない自分で考えた所に闇雲に網を降ろすのは、ただひもじい思いをするだけだ。

弟子達は、主の御声に聞き従い、御旨通りに網を降ろして、153匹の大きな魚を獲ったが、この153という数を、ヘブライ文字の数(ヘブライ語アルファベットにはそれぞれに対応する数字が当てられている)に当てはめると、「神の子達(ベンハーエローヒム:創世記 6:2)」の数と一致する。

イエス様が復活された後の網、聖霊を受けた弟子達が神の子達を捕るための網は、決して破れないのだ。

ペテロ達が最初にイエス様から召命を受けた時の網は、破れた。(ルカ 5:6、KJV:their net brake.)。聖霊によって投げない網は破れ、聖霊によって捕えない魚は、破れ口から出たり入ったり、教会から出たり入ったりしてしまうが、イエス様が復活された後の網、すなわち、聖霊によって投網する網は、決して破れず、神の子を捕らえて、離さない。私達はもはや、神の子が教会から出たり入ったり、行ったり来たりしないために、復活の主の御声に聞き従い、聖霊による網を投ずるべきだ。復活の主の御声に聞き従い、聖霊により、偉大な(メガス)の神の子たちを捕獲して行く皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube